

新型コロナウイルスの感染が全国で再び拡大している。大阪市や東京だけでなく、東北など地方でも急増しており、感染拡大の「第4波」に陥った。

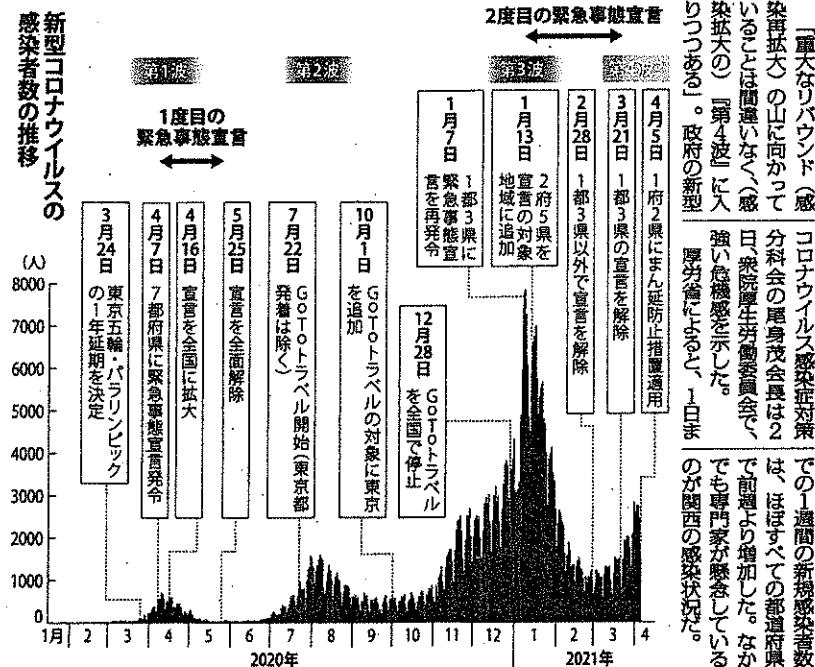
クローズアップ

迫る「第4波」

大阪、再拡大が加速

首部圏でも、3月25日をもって宣言が解除されたところを、新たに緊急事態宣言が発令された。政府が初めて緊急事態宣言を発令してから7日で1年にはなっていない。東北地方では、宮城県で3月上旬から感染者数が急増し始めた。「東日本大震災から10年となる」3月11日前後に多くの人が宮城県を訪れ、年度末の運動時期を更新する7~10人の新規感染者を記録するなど、感染者の増加傾向に歯止めがかかるなど。吉村洋文知事は、「これまでにならない」と警鐘を鳴らした。

東北地方では、宮城県で3月上旬から感染者数が急増し始めた。「東日本大震災から10年となる」3月11日前後に多くの人が宮城県を訪れ、年度末の運動時期を更新する7~10人の新規感染者を記録するなど、感染者の増加傾向に歯止めがかかるなど。吉村洋文知事は、「これまでにならない」と警鐘を鳴らした。



変異株検査進まず

また延防止措置が適用され

れ大阪、兵庫の両府県で

は、感染力が高いとされる

英國型の変異株の発生が増

えており、感染の拡大に

変異株が影響を与えている

ようだ。3月31日で開かれた、厚生労働省に感染対策

を助ける専門家組織「ア

ドバイザリーボード（AB

）」でも、鷹田隆子座長

が「国内での感染者の増加

には一定程度、変異株の影

響がある」と指摘した。

鹿児島県によると、3月22

～28日の変異株を抽出する

べつに二ヶ月（約6万分

け）検査で、兵庫県では検

査数の73%を当たる103

人が変異株による感染と

確認されている。

都道府県ではこれまで、

新型コロナの感染が確認さ

れた人のうち10歳程度を以

てのが、京都府の推

測によると、

1回目の検査結果は感染第1

位

の

1回目

の